平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	神奈川県畜産会
２１７ ※記入不要		

要望問題　牛凍結受精卵を活用した雌雄産み分けの推進

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

乳牛では雌と雄の資産価値は大きく異なり、雌の確保で改良の進歩も早くなるため、雌雄産み分け技術にかける期待は大きいと考えられます。

現在新鮮卵での雌雄産み分け技術は普及の段階になっていますが、この技術が広く普及させるには凍結受精卵での雌雄産み分け技術が重要と考えられます。手法によっては性判別凍結受精卵での高受胎率も報告されています。しかし、普及には牛舎で簡易に融解して移植できる技術の確立が必要です。現場で通常の受精卵移植の様に簡単に移植ができる手法の早急な確立をお願い致します。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③4～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産研究所
部　　署：畜産工学部	
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　(①、②、④の場合)
牛の雌雄産み分け技術の実用化試験

対応の内容等

性判別受精卵の凍結保存については、ガラス化保存法で高い受胎率が得られていますが、融解後に生存性判定をした後に移植する手法が用いられています。要望のありました牛舎で簡易に融解して移植できる技術の確立については、耐凍剤をストロー内で希釈し直接移植する手法の実用化を他県畜産試験場との共同試験で検討しています。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③4～５年以内　④５～１０年以内
備　考	